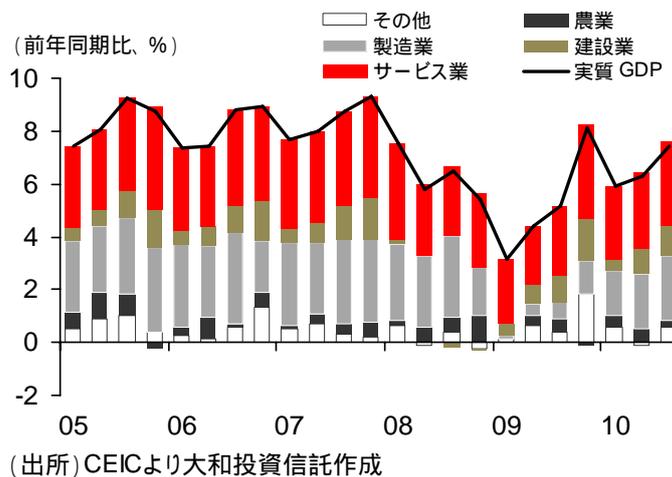


## ベトナム:7-9月の実質GDPは前年同期比7.2%増へ加速

大和証券投資信託委託株式会社

ベトナム計画投資省は9月27日に、1-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率が前年同期比6.5%増になったと発表しました(Bloombergへの公表は9月28日)。四半期毎に成長率を見ると、7-9月期には前年同期比7.2%増と、4-6月期の6.4%増から加速したことになります。産業別に見ると、製造業、サービス業などがバランスよく回復していることがわかります。ベトナム政府は2010年の実質GDP成長率の目標値を6.5%増と設定していますが、ベトナム政府が銀行貸出による景気上振れに力を注いでいることを考えると、この2010年の目標値を達成できる可能性が高くなっているといえます。したがって、ベトナム景気には当面、下振れリスクは発生しにくいと思われれます。

ベトナムの実質GDP



ただし、経常収支の赤字を背景に、ベトナム・ドンには下落圧力がかけやすいことには留意が必要です。ベトナムでは部品産業の集積が進展していないため、増産体制に入る局面では、中間財・資本財への輸入需要が高まりやすく、その結果、景気回復期には輸入拡大を通じて、通関収支の赤字ひいては経常収支の赤字が拡大しやすい傾向があります。

しかし、政治の安定性や経済規模と比較した株式市場の過小評価に加え、内需主導の景気回復を背景とした海外からの資金流入が今後も期待されることなどから、引き続きベトナムへの投資魅力は高いものと考えています。

以上